

## ～令和3年4月 データから見た業界の動き～

### 4月報告のポイント

#### 「2年ぶり、「売上D.I値」プラスに転じる」 景気の回復につながるか?! コロナウイルス終息後の経済対策が鍵

##### ■ 概 況

4月の県内景況のD.I値は、全体で売上高+10ポイント（前年同月比+72）、収益状況▲10ポイント（前年同月比+42）、景況感▲22ポイント（前年同月比+38）となり、昨年度対比で大きく回復傾向を示した。

業種全体で売上高D.I値がプラスを示すのは、2019年(平成31年)4月以来2年ぶり。

業種別では、製造業は、売上高▲10（前年同月比+55）、収益状況▲20（前年同月比+35）、景況感▲30（前年同月比+35）となった。

半導体、医療機器、自動車関連の動きが特に活発になっており、関連する部品の製造、製造機械装置等の業界も売上は増加している。しかし、この動きに水を差すように、昨年生産が抑制されたことから材料となる鋼材不足が発生、単価も上昇し収益を圧迫している。また、一般住宅の建築・リフォームが増え、同工事における原材料の6割以上を占める輸入木材も不足。アメリカや中国における木材需要の増加と世界的なコンテナ不足が原因と見られる。共に原材料の不足によるもので自社では解決できない課題、先行きに不安を感じている事業者が多い。

非製造業では、売上高+23（前年同月比+83）、収益状況▲3（前年同月比+47）、景況感▲17（前年同月比+40）と全ての項目で数値が改善、売上高D.I値がプラスを示したのは2019年(令和元年)5月以来である。新型コロナウイルス感染症が比較的抑えられていた今年の4月期は一部のイベントが小規模ながら開催されたことから、警備業界からは昨年度対比+20%の売上、宿泊業や商店街からも昨年度対比+50%売上増加の報告がされた。しかし、運輸業（バス・タクシー）では外出自粛が定着しつつあり利用客が減少、財務状態は非常に厳しく、従業員の給与も歩合制のため低下することにより転職する者も出ているとの報告もあり、新型コロナウイルス感染症が抑止された以降も課題は多い。

今年度の景況の見通しについてアンケート調査を行った結果「上昇」10%、「不変」40%、「低下」43%の回答となり売上D.I値の回復は一時のものと捉えている事業者が多いことが伺える。平成31年4月～令和元年5月期は米中貿易摩擦により製造業では一時の活況は陰を潜めたが、まだまだ景気の回復感堅持されていた。非製造業においても消費税率10%をその秋に控え駆け込み需要も徐々ににはじまり増税に対する経済対策への期待もあったが、新型コロナウイルス感染症の拡大により全てのシナリオが崩れた。今後事業者が経営を続ける上での課題や悩みは様々だが、医療体制の強化やワクチン接種の加速、感染症の早期終息への期待、事業継続にかかる給付金の延長や終息後の経済対策が共通して求められている。中央会では引き続き中小企業者の経営力向上のための取組として専門家派遣等による具体的な経営改善支援をしていく。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>昨年度対比でギフト関係商品の受注が回復してきた印象があるが、新型コロナウイルス感染症拡大前に比べると売り上げはまだ5割程度に留まっている。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>需要の拡大により販売店舗を増設する組合員がいるなど依然好調を維持し、売り上げは前年同月比117%と増加した。</p>
<p>食料品 (麺類製造)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が全国に発令されていた前年度に比べると売り上げは10%程度増加したが、県外からの観光客は依然として戻らず、景況感の改善はない。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>スーパーマーケットやドラッグストアへの一般流通菓子の売り上げは平年並みを維持しているが、新型コロナウイルス感染症拡大による移動の制限・自粛等からお土産関係の売り上げが減少しており、全体で前年同月比▲20%となった。</p>
<p>食料品 (酒類製造業)</p>	<p>家庭での酒類の消費は増加しているが、飲食店の営業時間短縮や休業要請により酒類全体の需要減少が予想され、今年度の業界の景況は悪化すると考えている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>テレワークの推進により外出や営業活動が制限されており、スーツやネクタイの需要が減少、前年同月と比べ売り上げは▲20%となった。定期的に行われていた各種展示会も三度の緊急事態宣言発出により中止となるなど、新型コロナウイルス感染症による業界への影響は大きい。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>傘やストールなどファッション関連製品を多く扱っていることから、新型コロナウイルス感染症拡大により外出の制限や自粛がされている内は売り上げの回復は見込めないと考えている。 4月の売り上げは前年同月比▲20%となった。 5/25(火)、26(水)に東京国際フォーラムで予定されている大規模な商談会も緊急事態宣言の延長により開催が危ぶまれている。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>主にアメリカ国内での木材需要が高まっていることに起因する輸入木材の不足「ウッドショック」によって、建築材料となる木材、木製品の流通量が大幅に減少している。今年度の業界の景況は悪化することが予想されている。</p>
<p>家具製造</p>	<p>例年は年度末の駆け込み需要が発生し4月の売り上げが減少するが、今年度は受注が後ろ倒しされ、前年同月比+14%となった。 しかし、総体的には取引先の販売数が増加しないため、在庫過多の状態が続いている。 業界ではECサイトで販売される安価な置き家具の売り上げが伸びているが、組合員が扱う住宅設備・取付家具などの受注回復目処が立たない状況である。</p>

印刷・同関連業	<p>組合員それぞれの主要取引先によって売上・収益・景況感などに格差が広がっている。新型コロナウイルス感染症の影響から観光業や飲食業を取引先とする組合員は売上減少が顕著、菓子製造業など安定的に事業を続ける企業を顧客とする組合員は受注状況に影響がほとんどない。</p> <p>また、デジタル化の進展による紙媒体の減少や、企画・デザイン・製作・印刷を一貫して請け負う広告代理店やネットで簡単に印刷発注ができる軽印刷業も台頭、少ない仕事量を確保するための競争が激化しており、先行きに不安を抱える事業者が多い。</p>
窯業・土石 (山砕石)	<p>昨年度から大型建築物の計画が少ないことで厳しい状況が続いていたが、リニア中央新幹線関連の工事や新山環状道路の工事が動き出し、工事が本格化する今年10月以降には業界の景況が回復することを期待している。</p> <p>ただし、今年は予測される公共工事量が少ないことと民間工事の減少が続いていることから、夏に向かって経営の厳しい組合員が増すことを懸念している。</p>
鉄鋼・金属 (金属製品製造業)	<p>自動車産業と医療機械関連からの需要が増えていることから、売り上げは前年に比べ増加している。特需と言えるほどの大きな伸びではないが、今年度は少しずつ売り上げが増加すると見込んでいる。</p> <p>一部では鉄が値上がりしているとの情報もあり、拡大傾向に水を差すことが懸念される。</p>
一般機器 (業務用機械器具製造業)	<p>半導体やコンピューター関連製造装置関連部品の受注が好調で、売り上げは前年同月より10%増加、景況感是好転してきていると感じている。</p> <p>反面、昨年度の鉄の生産抑制や自動車生産の増加による影響で材料である鉄が不足、受注分の材料確保に苦戦している。</p>
電気機器 (電気機械部品加工業)	<p>医療機器関係や半導体製造関係の受注が増えたことにより在庫が減少してきている。ただし、仕事量の総量は新型コロナウイルス感染症拡大前には及ばず、少ない仕事量に対して受注競争が激しいため収益の好転はなく、4月期は売り上げも前年同月比▲10%程度となっている。</p>

● 非製造業

卸売 (紙製品)	<p>ペーパーレス化やテレワークへの移行からオフィスで使用する紙が減少、広告宣伝用媒体のデジタル化からポスターやパンフレットなどの紙製品も減少しており、組合員の取り扱う商品が減少している。</p>
小売 (青果)	<p>緊急事態宣言の発令や行動の制限・自粛等により消費が著しく低下した前年同月と比較すると、8%程度売上は増加した。</p> <p>しかし、天候不良によりニンジンやジャガイモの流通量が減少したことから価格が高騰、仕入値を販売価格に転嫁できず収益を圧迫している。</p>
小売 (食肉)	<p>大都市圏を中心とする緊急事態宣言が発出された前年同月に比べ、売り上げ・収益ともに回復してきている。河口湖周辺の観光地では関東からの観光客が増加傾向にあり、日常の生活を取り戻すことができれば今年度の景況は好転していくものと期待している。</p>

<p>小 売 (水産物)</p>	<p>一般消費者向けの小売りは変化が少ないが、旅館や飲食店等への卸売が昨年より減少し、前年同月比▲3%となった。</p>
<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の予防対策として空気清浄機や空気清浄機能付きエアコンなどの家電が売り上げを伸ばしており、4月期も前年同月比1%と僅かに増加を続けている。 しかし、昨年度のような特需は落ち着いてきており、営業機会が限られる状況は変わらないことから、今年度は売り上げが減少すると予想している事業者が多い。</p>
<p>小 売 (事務機小売業)</p>	<p>リモートワークが増えたことにより従来の文具事務機の受注が減少する一方で、新型コロナウイルス感染症予防対策用品の新規受注が増加したため全体の売り上げなどに大きな変化はない。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>前年同月は休業していた期間が含まれるため、今年4月の売り上げは50%の増加となった。 来客数が増加したわけではなく、今後も新型コロナウイルスの影響を受け各組合員の景況は悪化すると考えている。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>収益は前年同月比12%と増加しているが、経営が厳しい状況に変わりはない。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により来客数が減少、ECサイトやテレビショッピングなどの非接触型販売が好まれているが、地域コミュニティを維持する実店舗型商店街は明確な差別化を図ることにより活路が生まれるものと考えている。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>昨年の緊急事態宣言時と同様に厳しい経営環境が続いている。売り上げは前年同月と変わらないが、一昨年と比べると減少は顕著であり資金繰りが厳しい。 新型コロナウイルス感染症の状況により先行きが左右され不透明な状況である。</p>
<p>美 容 業</p>	<p>美容業界では不要不急の外出を控える傾向から、来客数が減少している。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの予約を一度に入れることができず顧客回転率が悪化、今後の改善見通しは立たない。</p>
<p>警 備 業</p>	<p>例年4月は土木・建築工事が減少するが、今年度は公共工事が分散発注され4月から始まったこと、花見等のイベントが小規模ながら一部再開したことにより、売り上げは前年同月より20%増加した。 また、東京オリンピックが予定通り開催される方向で進んでいることで他のイベントも小規模ながら開催されることとなり、夏に向けて明るい兆しが見えつつある。 今後は、ワクチン接種が効率よく実施され、大きなイベントの開催が可能になることを期待している。</p>
<p>建設業 (総 合)</p>	<p>前年同月に比べ、件数は12%、請負金額では85%増加しており令和3年度は幸先の良いスタートとなった。 県の公共事業予算について複数年にわたる計画が示されるなど、例年通りの公共事業費が確保できると考えているが、今後の動向を注視したい。</p>

<p>建設業 (型 枠)</p>	<p>前年同月は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けず、すでに工事が発注されていたため売り上げの確保はできていた。 しかし、今年に入り公共工事の減少や景気後退を受け設備投資を延期するなど民間工事が減少したことから、売り上げは▲20%となった。工事物件があっても競争が激しくなり、工事単価を安く受注することが増加、さらに中国・米国の好景気と国内資材の需要増及び貨物運搬費の高騰を受け、工事に必要な輸入資材の値上がりが顕著であり経営を圧迫している。</p>
<p>建設業 (鉄 構)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、昨年度、材料となる鉄の生産が抑制されていた影響から、現在も品薄、価格高騰の状況。 加えて県内物件の発注が減少し競争が激化、受注価格が低減傾向にあり、なおさら収益を圧迫している。</p>
<p>設備工事 (電気工事)</p>	<p>電気工事に関しては設備投資や改修工事が堅調に推移しているため今のところ受注量に変化はないが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず景気低迷が長期化することにより、企業の収益悪化や個人の消費の落ち込みから設備投資の動きが抑制されると予測、今年度は景況が悪化することを懸念している。</p>
<p>運 輸 (タクシー)</p>	<p>売り上げの減少から従業員の収入も低下、タクシー業界から転職する従業員が出ており、さらに人材確保難に陥る事業者もいる。</p>
<p>運 輸 (バ ス)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が収まらず外出自粛の傾向が続いていることから、バスの需要は低い。 売り上げは回復せず、資金繰りがとても厳しい状況が続いている。 需要喚起のためのキャンペーンの再開やワクチン接種が進み観光客が増えることで、売り上げが回復することを期待したい。</p>
<p>運輸 (トラック)</p>	<p>組合員の取引先（取扱う荷物）により、売り上げが減少した組合員と、売り上げが伸びた組合員との格差が顕著に表れてきている。</p>

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値 (好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値)

対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2020/4	2021/3	2021/4	2020/4	2021/3	2021/4	2020/4	2021/3	2021/4
売上高	-65	-45	-10	-60	-23	23	-62	-32	10
収益状況	-55	-40	-20	-50	-33	-3	-52	-36	-10
景況感	-65	-45	-30	-57	-30	-17	-60	-36	-22

※ ( (良数値 ÷ 対象数) × 100 ) - ( (悪数値 ÷ 対象数) × 100 ) = D. I 値

